

(案)

情報通信審議会 情報通信技術分科会
陸上無線通信委員会 (第 79 回) 議事録 (案)

1 日時

令和 5 年 5 月 11 日 (木) 10:00~10:40

2 場所

WEB上で開催

3 出席者(敬称略)

主 査 : 三次 仁

主 査 代 理 : 豊嶋 守生

専 門 委 員 : 秋山 裕子、飯塚 留美、井家上 哲史、伊藤 数子、今村 浩一郎、
児玉 俊介、杉浦 誠、杉本 千佳、高尾 義則、福家 裕、藤井 威生、
藤野 義之、松尾 綾子、吉田 貴容美、吉田 奈穂子

事 務 局 : 総務省 移動通信課 第一技術係

4 配布資料

資料番号	資料名	作成者
資料 79-1	陸上無線通信委員会 (第 78 回) 議事概要 (案)	事務局
資料 79-2-1	陸上無線通信委員会報告 (案) 「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」	事務局
資料 79-2-2	陸上無線通信委員会報告概要 (案) 「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」	事務局
資料 79-2-3	陸上無線通信委員会報告 (案) に対するご意見及びご意見に対する考え方	事務局
資料 79-3	「433MHz 帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーに係る技術的条件」の検討開始について	事務局

5 議事

(1) 前回の議事録案の確認

資料 79-1 に基づき、事務局より説明が行われ、(案) のとおり承認された。

(2) 陸上無線通信委員会報告(案)「時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の高度化等」に対する意見募集の結果について

資料 79-2-1、資料 79-2-2 及び資料 79-2-3 に基づき、事務局より説明が行われ、報告書は承認され、5 月期の情報通信技術分科会へ報告を行うこととした。

主な質疑応答の概要は以下のとおり。

三 次 主 査 : KDDI のご意見に関して、確認がある。今までは、PHS の後に携帯電話システムが導入されたが、今後、新たなシステムを導入する際には、携帯電話を優先するということがいいのか。先発であることの言葉の意味合いについてはこれで正しいのか。

事 務 局 : ご理解のとおり。

(3) 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「433MHz 帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーに係る技術的条件」の検討開始について

資料 79-3 に基づき、事務局より説明が行われ、小電力システム作業班における「433MHz 帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーに係る技術的条件」の検討開始について確認された。

主な質疑応答の概要は以下のとおり。

高尾専門委員 : 検討開始に当たり、430MHz 帯のアマチュア無線における位置づけについて説明したい。国内にあるアマチュア無線局は 37 万局あり、そのうち 30 万局が 430MHz 帯を使用している。この周波数帯は、アマチュア無線の入門バンドであると同時に、使い勝手の良さから幅広い運用がされている。また、登山時や車載の移動時の使用や、3.11 の災害時には地域内情報把握や情報伝達においても使用された。電波の特性上、地域性をもって全国で幅広く通信が行われており、アマチュア無線で最も活性しているバンドである。リピータ局も一番多い周波数帯であり、人材育成においても重要な ARISS スクールコンタクトにも使用されている。また、この周波数帯の一部は RF タグと共用しており、これらは

コンテナヤードでのコンテナ移動の確認に使用されているが、当時、電波の強度や送信頻度等を実証実験で確認し、共用可能と判断した。一方で、タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーは RF タグと利用状況が大きく異なるため、多くのアマチュア無線の利用者は影響を心配している。搭載車両数、動作頻度の点から放射電力等を考えると、車道いっぱい 433MHz の周波数があふれる恐れもあり、RF タグより大きな影響があると考えられる。このような状況を考慮してアマチュア無線との共用の配慮をしてほしい。

- 藤井専門委員 : 質問、意見がある。①タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーは一次業務として位置付けるのか、②海外においてアマチュア無線とタイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーを共用している国で問題は生じていないのか、説明いただきたい。アマチュアからの被干渉は問題となっていないのか。
- 事務局 : ご質問①については、今後検討していく。②については、共用している国もあるが、問題は生じたとは聞いていない。なお、影響については、実機による検証等も行い評価していく予定。
- 藤井専門委員 : 日本は 430MHz のアマチュア局の運用が多いため、与干渉、被干渉含めて共用の検証をお願いしたい。
- 三次主査 : アドホックグループには、JARL も入るのか。
- 高尾専門委員 : 参加する。よろしくをお願いしたい。
- 三次主査 : 433MHz はアマチュア無線で何に使用されているか、433MHz 帯のものが他の周波数帯に逃げることはできないのか、説明いただきたい。
- 高尾専門委員 : 一般の音声通信に多く使用されている。433MHz はメインの周波数帯になるため他の周波数帯に逃げることはできない。付近の周波数も含め、使用頻度の高い周波数帯である。
- 三次主査 : どちらのシステムも大切であるため折り合いをつけて調整いただきたい。児玉専門委員（小電力システム作業班主任）、よろしくをお願いします。
- 児玉専門委員 : 作業班、アドホックグループ、事務局の協力のもと検討を進めていきたい。

(4) その他

事務局より、次回の開催日程等については別途連絡する旨の説明を行った。

(以上)